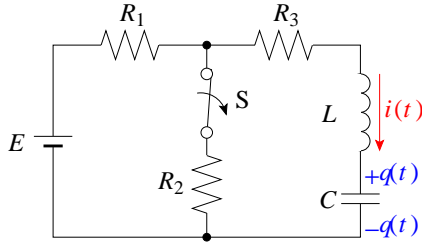


電気回路演習 第 14 回 (平成 22 年 7 月 21 日 (水))

演習

図に示す回路においてスイッチ S を閉じた状態で十分な時間が経過し、定常状態になった後、スイッチ S を開く場合を考える。スイッチ S を開いた時刻を $t = 0$ とする。以下の設問に答えなさい。なお、 $R_1 = 4 \Omega$ 、 $R_2 = 1 \Omega$ 、 $R_3 = 2 \Omega$ 、 $L = \frac{1}{10} \text{ H}$ 、 $C = \frac{1}{50} \text{ F}$ 、 $E = 10 \text{ V}$ とする。



図

- 時刻 $t = 0$ でインダクタ L に流れている電流 $i(0)$ とコンデンサに蓄えられている電荷 $q(0)$ を求めなさい。
- 時刻 $0 \leq t$ での回路方程式を、電流 $i(t)$ を用いて表しなさい。
- 電流 $i(t)$ のラプラス変換を $I(s)$ とする。 $I(s)$ を用いてラプラス変換された回路方程式を求めなさい。
- $I(s)$ を求めなさい。
- 電流 $i(t)$ を求めなさい。

演習解答

- まず、時刻 $t = 0$ での初期条件 $i(0)$ 、 $q(0)$ を求める。

$i(0)$: 直流電源で、定常状態なので

$$i(0) = 0 \text{ [A]}$$

$q(0)$: コンデンサ C にかかる電圧 V_c は

$$V_c = \frac{R_2}{R_1 + R_2} E = \frac{1}{5} \cdot 10 = 2 \text{ [V]}$$

よってコンデンサの電荷は

$$q(0) = CV_c = \frac{2}{50} = \frac{1}{25} \text{ [C]}$$

- コンデンサ C に蓄えられる電荷 $q(t)$ と電流 $i(t)$ の関係 $q(t) = \int i(t) dt$ を用いると、回路方程式は

$$(R_1 + R_3)i(t) + L \frac{di(t)}{dt} + \frac{1}{C} \int i(t) dt = E$$

上式に与えられた値を代入すると

$$6i(t) + \frac{1}{10} \frac{di(t)}{dt} + 50 \int i(t) dt = 10$$

$$\frac{di(t)}{dt} + 60i(t) + 500 \int i(t) dt = 100$$

(c) 設問 (b) で求めた方程式をラプラス変換すると

$$\{sI(s) - i(0)\} + 60I(s) + 500 \left\{ \frac{I(s)}{s} + \frac{1}{s} \int i(t) dt \Big|_{t=0} \right\} = \frac{100}{s}$$

であり, 設問 (a) で求めた初期条件 $i(0)$, $q(0)$ を方程式に代入すると

$$sI(s) + 60I(s) + 500 \left\{ \frac{I(s)}{s} + \frac{1}{25s} \right\} = \frac{100}{s}$$

$$sI(s) + 60I(s) + \frac{500}{s}I(s) = \frac{80}{s}$$

(d) 設問 (c) で求めた式から $I(s)$ を求めると

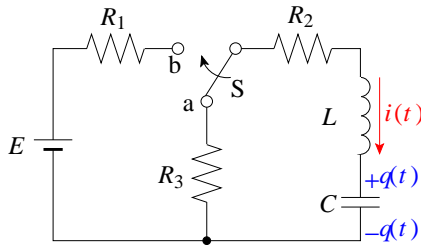
$$I(s) = \frac{\frac{80}{s}}{s + 60 + \frac{500}{s}} = \frac{80}{s^2 + 60s + 500} = \frac{80}{(s + 10)(s + 50)}$$

(e) 設問 (d) で求めた $I(s)$ を逆ラプラス変換すると

$$\begin{aligned} i(t) &= \mathcal{L}^{-1} \{I(s)\} = (s + 10)I(s)e^{st} \Big|_{s=-10} + (s + 50)I(s)e^{st} \Big|_{s=-50} \\ &= \frac{80}{s + 50} e^{st} \Big|_{s=-10} + \frac{80}{s + 10} e^{st} \Big|_{s=-50} \\ &= 2e^{-10t} - 2e^{-50t} \text{ [A]} \end{aligned}$$

小テスト

図に示す回路においてスイッチ S が端子 a に接続された状態で十分な時間が経過し、定常状態にあるとする。その後、スイッチ S を端子 b に切り換えたとする。スイッチ S を切り換えた時刻を $t = 0$ として、以下の設問に答えなさい。なお、 $R_1 = 2 \Omega$ 、 $R_2 = 3 \Omega$ 、 $R_3 = 4 \Omega$ 、 $L = \frac{1}{2} \text{ H}$ 、 $C = \frac{1}{12} \text{ F}$ 、 $E = 15 \text{ V}$ とする。



図

- 時刻 $t = 0$ でインダクタ L に流れている電流 $i(0)$ とコンデンサに蓄えられている電荷 $q(0)$ を求めよ。
- 時刻 $0 \leq t$ での回路方程式を、電流 $i(t)$ を用いて表しなさい。
- 電流 $i(t)$ のラプラス変換を $I(s)$ とする。 $I(s)$ を用いてラプラス変換された回路方程式を求めなさい。
- $I(s)$ を求めなさい。
- 電流 $i(t)$ を求めなさい。

小テスト解答

- 時刻 $t = 0$ でインダクタを流れる電流 $i(0)$ 、コンデンサの電荷 $q(0)$ は

$$i(0) = 0 \text{ [A]}, \quad q(0) = 0 \text{ [C]}$$

である。

- コンデンサ C に蓄えられる電荷 $q(t)$ と電流 $i(t)$ の関係 $q(t) = \int i(t)dt$ を用いると、回路方程式は

$$(R_1 + R_2)i(t) + L \frac{di(t)}{dt} + \frac{1}{C} \int i(t)dt = E$$

上式に与えられた値を代入すると

$$5i(t) + \frac{1}{2} \frac{di(t)}{dt} + 12 \int i(t)dt = 15$$

$$\frac{di(t)}{dt} + 10i(t) + 24 \int i(t)dt = 30$$

- 設問 (b) で求めた方程式をラプラス変換すると

$$\{sI(s) - i(0)\} + 10I(s) + 24 \left\{ \frac{I(s)}{s} + \frac{1}{s} \int i(t)dt \Big|_{t=0} \right\} = \frac{30}{s}$$

であり、設問 (a) で求めた初期条件をラプラス変換された式に代入すると

$$sI(s) + 10I(s) + \frac{24}{s}I(s) = \frac{30}{s}$$

- 設問 (c) で求めた式から $I(s)$ を求めると

$$I(s) = \frac{\frac{30}{s}}{s + 10 + \frac{24}{s}} = \frac{30}{s^2 + 10s + 24} = \frac{30}{(s + 4)(s + 6)}$$

(e) 設問 (d) で求めた $I(s)$ を逆ラプラス変換すると

$$\begin{aligned}i(t) &= \mathcal{L}^{-1}\{I(s)\} = (s+4)I(s)e^{st}\Big|_{s=-4} + (s+6)I(s)e^{st}\Big|_{s=-6} \\ &= \frac{30}{s+6}e^{st}\Big|_{s=-4} + \frac{30}{s+4}e^{st}\Big|_{s=-6} \\ &= 15e^{-4t} - 15e^{-6t} \text{ [A]}\end{aligned}$$